
津 別 町
地域福祉計画・地域福祉実践計画
策定のための町民アンケート報告書

調査結果

I. 基本属性

問1 あなたの性別はどちらですか。

選択肢	人数	%	前回調査(%)
男	86	43.2	42.9
女	97	48.7	46.4
その他	2	1.0	—
(無回答)	14	7.0	10.7
合計	199	100.0	100.0

問2 あなたの年齢はどれですか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
15～19歳	2	1.0	1.3
20～29歳	9	4.5	5.8
30～39歳	12	6.0	6.7
40～49歳	20	10.1	4.9
50～59歳	28	14.1	13.8
60～69歳	31	15.6	21.0
70～79歳	48	24.1	25.9
80歳以上	46	23.1	20.1
(無回答)	3	1.5	0.4
合計	199	100.0	100.0

問3 あなたの主な職業は何ですか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
農業	19	9.5	9.4
商業、自営業	7	3.5	7.1
会社員、団体職員、公務員	49	24.6	21.4
パート、アルバイト	22	11.1	9.4
学生	1	0.5	0.9
家事専業	26	13.1	11.2
無職	67	33.7	33.5
その他	1	0.5	5.4
(無回答)	7	3.5	1.8
合計	199	100.0	100.0

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
ひとり世帯	42	21.1	18.3
夫婦のみの世帯	64	32.2	35.3
2世代の世帯	76	38.2	33.9
3世代の世帯	12	6.0	8.5
その他	2	1.0	2.7
(無回答)	3	1.5	1.3
合計	199	100.0	100.0

問5 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
市街地区	95	47.7	55.8
活波地区（東岡、岩富、最上地区含む）	11	5.5	8.0
本岐地区（双葉、沼沢、大昭、木樋、二又地区含む）	8	4.0	4.0
達美地区	13	6.5	3.1
豊永地区（高台1・2、豊永1、美都、上里）	39	19.6	16.5
共和地区（共和1、恩根）	19	9.5	10.3
相生地区（布川地区含む）	8	4.0	1.3
(無回答)	6	3.0	0.9
合計	199	100.0	100.0

問6 あなたのお住まいの形態は次のどれですか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
持ち家	162	81.4	82.6
公営住宅（特賃住宅、町有住宅含む）	21	10.6	12.1
借家（アパート含む）	8	4.0	3.1
その他	3	1.5	0.9
(無回答)	5	2.5	1.3
合計	199	100.0	100.0

問7 あなたの考える「地域」の範囲をお答えください。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
となり、近所という範囲	23	11.6	15.6
自治会という範囲	99	49.7	42.4
複数の自治会が集まった範囲	15	7.5	12.1
町全体という範囲	52	26.1	26.3
その他	2	1.0	2.2
(無回答)	8	4.0	1.3
合計	199	100.0	100.0

Ⅱ. 「隣近所」との関わりについて

問8 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
日ごろから助け合っている	43	21.6	28.1
気のあった人とは親しくしている	31	15.6	19.2
困りごとなど相談できる	6	3.0	0.9
たまに会えば立ち話をするくらい	54	27.1	22.3
あいさつを交わす程度	52	26.1	22.8
ほとんど付き合いがない	8	4.0	2.7
(無回答)	5	2.5	4.0
合計	199	100.0	100.0

問9 あなたの近所の人との付き合いに対する考え方は、次のどれですか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
親しく相談したり助け合ったりするのは当然である	80	40.2	39.7
わずらわしいと感じることもあるが、日常生活の中で便利なことが多いので必要である	61	30.7	34.4
わずらわしいことが多いので、あまりしたくない	22	11.1	11.6
なくても困らないので、したくない	19	9.5	4.9
その他	11	5.5	3.1
(無回答)	6	3.0	6.3
合計	199	100.0	100.0

問10 あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか。

選択肢		できる	ときどき できる	できない	無回答	合計
安否確認の声かけ	回答者数	88	70	22	19	199
	%	44.2	35.2	11.1	9.5	100.0
	前回調査(%)	50.9	25.9	8.9	14.3	100.0
話し相手	回答者数	56	86	35	22	199
	%	28.1	43.2	17.6	11.1	100.0
	前回調査(%)	33.0	38.4	13.4	15.2	100.0
短時間の子どもの預かり	回答者数	19	42	103	35	199
	%	9.5	21.1	51.8	17.6	100.0
	前回調査(%)	13.4	19.6	45.5	21.4	100.0
外出（買い物や通院など）の 手伝い	回答者数	27	56	87	29	199
	%	13.6	28.1	43.7	14.6	100.0
	前回調査(%)	14.3	27.7	37.5	20.5	100.0
掃除の手伝い	回答者数	22	55	93	29	224
	%	11.1	27.6	46.7	14.6	100.0
	前回調査(%)	12.5	25.9	41.5	20.1	100.0
庭の手入れや簡単な日曜大工	回答者数	18	42	106	33	199
	%	9.0	21.1	53.3	16.6	100.0
	前回調査(%)	9.8	20.5	50.4	19.2	100.0
郵便物・宅配物の一時預かり	回答者数	55	58	54	32	199
	%	27.6	29.1	27.1	16.1	100.0
	前回調査(%)	32.6	21.9	25.9	19.6	100.0
冠婚葬祭の手伝い	回答者数	62	56	52	29	199
	%	31.2	28.1	26.1	14.6	100.0
	前回調査(%)	42.4	18.8	21.4	17.4	100.0
災害時の手助け	回答者数	80	51	35	33	199
	%	40.2	25.6	17.6	16.6	100.0
	前回調査(%)	46.0	22.3	11.2	20.5	100.0
その他ちょっとした用事	回答者数	52	72	46	29	199
	%	26.1	36.2	23.1	14.6	100.0
	前回調査(%)	28.1	37.1	15.6	19.2	100.0

Ⅲ. 「日常生活の課題」について

問11 あなたは、日常生活のなかで日ごろ不安に思っていることはありますか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
自分や家族の健康に関すること	111	55.8	57.2
老後の生活や介護に関すること	105	52.8	56.3
医療機関に関すること	50	25.1	26.0
生活費など経済的問題	44	22.1	20.0
移動手段に関すること	33	16.6	27.4
仕事に関すること	17	8.5	12.6
育児・子育てに関すること	9	4.5	3.3
家族との人間関係	8	4.0	3.3
近所の人との関係	8	4.0	4.2
住まいに関すること	17	8.5	9.3
地域の治安に関すること	6	3.0	7.4
人権問題に関すること	5	2.5	0.5
その他	2	1.0	2.8
特になし	28	14.1	10.7
合計（回答者数）	199	222.6	240.9

問12 現在、不安や悩みをどなたに、もしくはどこに相談していますか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
家族、親戚、きょうだい	151	75.9	72.4
友人	67	33.7	33.8
隣人、近所の人	17	8.5	10.0
自治会役員	7	3.5	3.8
民生委員・児童委員	3	1.5	0.5
かかりつけの医師	23	11.6	15.7
職場の人	22	11.1	6.2
役場などの官公庁の窓口(地域包括以外)	13	6.5	1.9
社会福祉協議会の窓口	12	6.0	4.3
地域包括支援センター	16	8.0	4.3
ケアマネジャー	12	6.0	1.9
福祉サービス事業者（ヘルパー等）	4	2.0	1.9
学校の先生	1	0.5	1.0
警察官	3	1.5	1.9
その他	1	0.5	3.8
誰にも相談しない	21	10.6	16.2
合計（回答者数）	199	187.4	179.5

問 13 日常生活の中で、手助けしてほしい（行ってほしい）と思うことはありますか（3つまで選択）。**新規設問**

選択肢	回答者数	%
通院、買い物などの外出の手伝い	21	10.6
洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援	8	4.0
ごみ出しや窓ふきなどのちょっとした力仕事	4	2.0
現金や通帳などのお金の管理	5	2.5
見守り・安否確認	11	5.5
日常的な話し相手・困ったときの相談相手	9	4.5
急病などの緊急時の手助け	30	15.1
子どもの預かり	4	2.0
気軽に行ける自由な居場所づくり	14	7.0
自身や知人が亡くなった後の手続きなど（死後事務）の支援	20	10.1
その他	4	2.0
特になし	116	58.3
合計（回答者数）	199	123.6

問 14 健康や福祉に関する情報で役に立っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)。

新規設問

選択肢	回答者数	%
津別町の広報誌・ホームページ	111	55.8
社会福祉協議会の広報誌・ホームページ	50	25.1
役場など公共施設に置いてあるパンフレット	14	7.0
家族や友人・知人などからの情報	69	34.7
自治会や老人クラブで行う出前講座	15	7.5
テレビ、新聞、書籍からの情報	83	41.7
インターネットからの情報	29	14.6
SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）からの情報	15	7.5
その他	2	1.0
特になし	30	15.1
合計（回答者数）	199	210.1

問 15 「成年後見制度」という言葉を知っていますか？ **新規設問**

選択肢	回答者数	%
言葉も内容も知っている	64	32.2
言葉は知っているが内容は知らない	89	44.7
全く知らない	41	20.6
（無回答）	5	2.5
合計	199	100.0

問 16 「ケアラー・ヤングケアラー」という言葉を知っていますか？ **新規設問**

選択肢	回答者数	%
言葉も内容も知っている	98	49.2
言葉は知っているが内容は知らない	45	22.6
全く知らない	53	26.6
（無回答）	3	1.5
合計	199	100.0

IV. 「地域活動・ボランティア活動」について

問17 あなたは地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
している	42	21.1	30.4
していた	38	19.1	17.9
したことがない	107	53.8	41.5
(無回答)	12	6.0	10.3
合計	199	100.0	100.0

問17- (1) 【問17で「1：している」と「2：していた」を選ばれた方におたずねします】地域・ボランティア活動をした（している）動機はどのようなことですか（3つまで選択）

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
自分の成長・生きがいとして	14	17.5	29.0
自分の能力・技能を活かしたい	10	12.5	10.3
社会の役に立ちたい	18	22.5	43.0
周りの人に誘われて	18	22.5	17.8
仲間・友人を得る	12	15.0	13.1
就職に役立てたい	1	1.2	0
福祉に関心がある	6	7.5	10.3
地域活動の一環として	49	61.3	59.8
もち回りのため	12	15.0	15.0
その他	0	0	5.6
特にない	6	7.5	0
合計（回答者数）	80	182.5	203.7

問17- (2) 【問17で「1：している」と「2：していた」を選ばれた方におたずねします】主にどのような活動をされました（しています）か（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
自治会の活動	58	77.3	69.8
社会福祉協議会の活動（旧：婦人会の活動）	17	22.7	(16.7)
老人クラブの活動	13	17.3	16.7
P T Aの活動	7	9.3	9.4
子育てサークルの活動	1	1.3	3.1
スポーツ団体の活動	6	8.0	10.4
趣味等のサークル活動	14	18.7	25.0
消防団・自主防災組織の活動	12	16.0	9.4
その他	3	4.0	20.8
合計（回答者数）	75	174.7	185.4

問17- (3) 【問17で「3：したことがない」を選ばれた方におたずねします】。活動したことがない理由は何ですか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
仕事や家事などで忙しく、時間がない	55	52.9	48.9
知っている人がいない	10	9.6	13.6
情報が入ってこない	18	17.3	19.3
活動したい気持ちがあるが、きっかけがつかめない	25	24.0	(23.9)
参加方法がわからない	11	10.6	12.5
自分の時間を大切にしたい	16	15.4	14.8
活動内容に興味・関心がない	5	4.8	9.1
身体の具合が悪い	18	17.3	23.9
自分の生活には関係ない	4	3.8	1.1
わずらわしい	2	1.9	8.0
家族の理解が得られない	2	1.9	0
職場の理解が得られない	1	1.0	2.3
その他	1	1.0	5.7
特にない	8	7.7	11.4
合計（回答者数）	104	169.2	194.3

問18 今後、あなたはボランティア活動をしたい（続けたい）と思いますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
活動したい	39	19.6	29.9
活動したいけれど活動できない	69	34.7	26.3
活動したくない	63	31.7	24.1
(無回答)	28	14.1	19.6
合計	199	100.0	100.0

問18-（1）【問18で「1：活動したい」を選ばれた方におたずねします】今後、ボランティア活動を行うとしたら、どんな内容の活動をしたいですか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
高齢者に関する活動	21	53.8	58.5
障がい者に関する活動	4	10.3	15.4
子育てに関する活動	2	5.1	16.9
保健に関する活動	2	5.1	10.8
青少年に関する活動	4	10.3	9.2
環境美化に関する活動	12	30.8	36.9
スポーツや文化、芸術に関する活動	10	25.6	24.6
防災や防犯、交通安全などに関する活動	12	30.8	26.2
その他	0	0	0
合計（回答者数）	39	171.8	198.5

問 18－（2）【問 18 で「2：活動したいけれど活動できない」を選ばれた方におたずねします】活動できない理由は何ですか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
仕事や家事などで忙しく時間がない	37	53.6	51.8
知っている人がいない	5	7.2	3.6
情報が入ってこない	13	18.8	8.9
活動したい気持ちがあるが、きっかけがつかめない	15	21.7	25.0
参加方法がわからない	5	7.2	5.4
自分の時間を大切にしたい	13	18.8	7.1
活動内容に興味・関心がない	3	4.3	1.8
身体の具合が悪い	17	24.6	42.9
自分の生活には関係ない	2	2.9	1.8
わずらわしい	1	1.4	0
家族の理解が得られない	3	4.3	0
職場の理解が得られない	0	0	1.8
その他	6	8.7	7.1
特にない	2	2.9	8.9
合計（回答者数）	69	176.8	166.1

問 19【問 18 で「1：活動したい」と「2：活動したいけれど活動できない」を選ばれた方におたずねします】今後、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか（3つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
気軽に相談できる窓口を設置する	35	32.4	43.7
活動できる拠点や場所を整備する	32	29.6	29.1
新たなポイント制や既存のポイント制を見直しする	8	7.4	8.7
活動に関する研修などを開催する	20	18.5	16.5
活動に関する情報を積極的に発信する	45	41.7	45.6
若い世代への参加を呼びかける	31	28.7	42.7
人材・リーダーの育成をする	20	18.5	29.1
その他	1	0.9	1.9
特にない	6	5.6	6.8
合計（回答者数）	108	183.3	224.3

V. 社会福祉協議会の活動について

問 20 あなたは、地域の福祉推進を図るために諸活動を行っている社会福祉協議会という組織を知っていますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
名前も活動内容も知っている	88	44.2	48.2
名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	79	39.7	36.2
名前も活動内容も知らない	23	11.6	5.8
(無回答)	9	4.5	9.8
合計	199	100.0	100.0

問 21- (1) 【問 20 で「1：名前も活動内容も知っている」を選ばれた方におたずねします】あなたの知っている社会福祉協議会の活動は次のどれですか（あてはまるものすべてに○）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
ボランティアの育成及び支援	52	59.1	50.0
赤い羽根共同募金運動	67	76.1	78.8
地域歳末たすけあい事業	54	61.4	54.8
訪問介護（ホームヘルパー）、訪問入浴サービス事業	71	80.7	78.8
介護器具の貸出事業	58	65.9	58.7
給食サービス事業	60	68.2	62.5
ふれあい郵便	24	27.3	—
男の料理教室	40	45.5	61.5
サロン活動	57	64.8	65.4
生活支援サポート事業	39	44.3	51.0
その他	1	1.1	4.8
合計（回答者数）	88	594.3	713.5

問 21－（２）【問 20 で「１：名前も活動内容も知っている」社会福祉協議会が行う活動として、今後、充実してほしいものはどれですか（３つまで選択）。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
ボランティア活動への参加促進と支援	23	26.1	43.8
住民による見守りや支え合い活動への支援	40	45.5	50.6
隣近所や自治会など、交流活動への支援	28	31.8	30.3
地域住民への福祉に関する理解の普及啓発	33	37.5	10.1
学校における福祉体験学習の推進	13	14.8	5.6
成年後見制度の活用など権利擁護事業の推進	16	18.2	6.7
福祉サービスに関する情報発信の充実	39	44.3	24.7
その他	0	0	0
特になし	10	11.4	6.7
合計（回答者数）	88	229.5	239.3

問 22 あなたは地域における福祉を充実させていく上で、行政と地域の住民の関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。

選択肢	回答者数	%	前回調査(%)
全ての生活課題について、必要な福祉サービスを行政が行う	36	18.1	8.5
行政が行う福祉サービスで解決できない生活課題についてのみ町民が協力する	33	16.6	13.8
全ての生活課題について、行政と町民が協力して取り組む	91	45.7	45.1
全ての生活課題について、町民が相互に協力して取り組み、解決できない生活課題についてのみ行政が協力する	10	5.0	13.8
その他	1	0.5	1.3
（無回答）	28	14.1	17.4
合計	199	100.0	100.0

問 23 誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

回答内容（原文ママ入力）

世帯のなかに隠れた貧困が起きてます。私は通信手段（スマホ）を持ってません。生理用品買うのも困っています。一定期間、無料で携帯電話の貸し出しとかのサービスがあれば良いと思います。

私は発達障がいの疑いがあります。専門医に受診してもらいたいけれどどこに医療機関があるのかもわかりません。たとえ病院がわかっても、行く手段（車の運転ができない）がないです。同居する者にも頼めません。正しい診断を受け受けられる支援制度があれば利用したいです。子供だけでなく大人（中年）になっても生活に支障があり、周りに迷惑かけています。

同居する者からのハラスメントをされた時、「家族なんだから」と化石みたいな言葉で何も守られないのは問題です。一時ひなん場所（シェルター）にいつでも逃げることができると知っていれば安心できます。

仕事が全然ないのに移住をすすめないで下さい。

人の人生をナメないで！

あいおい道の駅にドックラン、子供用遊具を設置したら、もっと人が来て、活性化すると思う
つべつ町からちょうどドライブによい距離。

遊べておいしいものも食べれる所がほしい

（医療、福祉、介護とはズレてしまうと思いますが）

いつも町民のために、色々と考えて下さりありがとうございます。

・コロナワクチンのメリット・デメリット両方を掲げて、本当に接種が必要なのか？を町民に聞いて欲しい。接種ありきで呼びかけるのはどうなのか？

・ソーラーパネルをあちこちで建てていたりそのための木の伐採、5G 設置のための木の伐採もどうなのでしょう？メリットデメリット考えて欲しい。ソーラーパネルは、10 年後には使用できなくなるとか……。でも廃棄するのは大変とか……。知ってて、建てているのでしょうか？今だけ、金だけ自分だけになっていませんか？そういう情報も町民に周知して欲しい。

・熊が家のそばに出ました。熊が食べる木の実のなる木を山中に植えるとか考えて欲しい。

・子ども達の未来が安心して生活できるよう今の行っていることに疑問をもって見て欲しい。何でも新しいものを取り入れれば良いってもんじゃないとも思います……。

みなさんの町民アンケートが町づくりに生かされますように。

津別は水がおいしく、自然がたくさんあり、空気もきれいで住みよい町だと思います。ただやはり、病院や歯科受診に時間がかかり、なかなか思い通りにならないのがネックとなっています。

人口減少となる近年、むずかしい課題だと思いますが……！！

高齢化率が 45%とかなり高い状況の中、高齢者に対するサービスが充実しているようには思えません。

安心して生きていくために様々な視点でサポートしていかないと津別町を去っていく町民が増えていくと思います。

私も老後のことを考えると津別町で生きていくのがむずかしいと思っています。タクシーが少ない、時間制限がある、バスの本数が少ない、買い物をする場所が限られている、医療機関が少ない。etc・・・高齢者にとって優しい町とは思えません。

元気だったらできることができない人の立場に立って考えていてもらいたいと思います。子供がいる世帯も、この町で良かったとおもえるサポートがもっとあるとうれしいと思います。簡単なことではないと思いますが町民のためにぜひ検討してもらいたいです。

今は、仕事をして忙しくしているが、いずれ働くことが出来なくなると、不安がたくさん出てくるのだと思います。

気持ちの上では、助け合いとか協力できることはしようと思っていますが、現実はどうなるかわからないです。

今年の秋祭り議長さんを始め有志の方々の協力のお陰で伝統を・・・昔からのを守る事が出来た事本当に嬉しい御座います 駒踊りも昭和初期からのですので伝えて行っていきたいです 昭和初期に小学校の校長先生がお教えになったと聞いて居ります大切に残して居ってください 色々とした苦勞ですがよろしくお願ひ申し上げます

町民が楽しめるまちづくりを。

そのためにはみんながどんな事でもいいから無理なくできることをひとつでもいいからまちや周りのことをするだけでもかなり住みやすくなるのでは。。

お互いに助け合えるためには「やらなきゃ」とかじゃなく

「これならできるから」があればやってみらいし、もし何もできることがなくてもそれを周りも理解して受け入れることができたなら、「誰もが住みやすいまち」になると思います。

津別の人たちはみんなすごい人たちだと私はいつも思っています。

アンケートの内容が高齢の者にはそぐわない部分も多い。自分が生きていくだけで、ボランティアは無理！地道な高齢者への訪問等を望む。代筆 長女

難しい部分があるとは思いますが古い公営住宅は積極的にリフォームで設備更新等していただいたらうれしいです。

福祉課の方は皆さん頑張って下さいます

いつ迄も安心して暮らせる町であります様に

社会福祉協議会・地域包括支援センター等と民生委員さんが知る事項について自治会には壁があったと感じて居りました。自治会内でもボランティア見守り活動を始めてその壁も低くなりつつあると思うようになりました 住み慣れた町でいつまでも暮らしていきたいと思う人達に少し寄り添い話相手として少しづつ事情を知る事が出来るようになる事が住みやすい町づくりの一步目と思います。

「誰もが住みやすいまち」に対するイメージは、それぞれ違いがあり、急に問われても明確に答えることは難しいと思います。日頃から、「～だったら住み続けられる」「～だったら不便が少ない」など自由に語りあえて、好事例や工夫を共有できると良いのではないのでしょうか。(津別は他の小規模自治体と比べ、頑張っていると思います)

近くにお店を増やしてほしい。

津別病院を新しくしてほしい。医療機関を充実してほしい。歯医者が休んでいて困っているので町で誘致してほしい。
この街子供の将来ためにいろいろ準備しないとイケない。そしたら若い人をいろいろの場にくれると思います。この町にわかい人のあそびの場ないです
時間と体力と心の余裕があればボランティア活動に少しでも参加すべきと思う。参加することによって町の仕組等と理解できる様になるし町も活気づくと思います。私はもう 80 過ぎて 90 才に近い方なので協力はできませんが... 町の繁栄を心ながら応援しております。
タクシー助成券について...町に 1 k ~ 2 k 内には大へん良いのですが 7 k ~ 10 k の人達には、考へる事はないでせうか。
ボランティアも自分の生活を優先させなければボランティア活動は成り立ちません。ただボランティアを募集するだけではきっと集まらないと思うので、長期的な視点で今のシステムを転換するアイデアが必要だと思います。一方が時間なり何なりを犠牲にして人助け（ボランティア）をするのでなく、どうすれば Win-Win な関係にもっていけるのか、長期継続の活動につながるのか、そこを是非協議して計画していただきたいと思います。ex.) 買い物付き添いに行く場合には、ボランティアは町内割引が使えるなど。
個人主義が強くなってきている現代では、隣近所の繋がりを感じられなくなってきている。人に何かを依頼することは、繋がりではなく金銭で行うことが一つのやり方ではないかと思う。行政からの依存をやめ、住民自身が日々の生活のなかで自身の生活を運営していくことが必要だと思う。
若者が働ける環境を作らないと丸玉だけでは町が滅びる。
もっと参加しやすい場所作って欲しい 行きにくい
相手の立場になって物事を見たり考えること
だんなが病気なので病院に通っているのです。今出来る事は二人でゆっくり好きな事する位です。私がだんだん体力がないのでね！！
アンケートに選んで頂きありがとうございます。
立派な建物ばかりでなく、本当の意味での人にやさしい町づくりをお願いします。
町民が減少する過程で、すべての町民が住みやすい町づくりは、出来るものではない。行政を担当する方々は、広く足を運び町民の声を聞き、少しでも住みやすい町づくりに努力して頂きたい。
障害者の仕事が津別にあって女子のグループホームなどがあればいいと思います。独身の障害者でも生活できるくらしにしてください。
ドラッグストア等、もっと施設を充実させて欲しい。
自分も高令なのでなるべく困りに迷わくをかけないように気を付けて居ます。
日々の活動有がとう御座居ます。高齢化が進む津別町においていろいろ課題が山積みですがよろしくお願い致します。
ボランティアをされている方々には頭が下がります。ありがとうございます。
①病院前に建設されるサツドラ内に、入院した時に遠方から洗濯物を取りに来なければならない家族の人のためにコインランドリーを設置すれば便利になるとおもいます。

②施設に入居されている元気な人達が、社会に関われる軽作業があれば、外の人達との交流も出来、心身のバランスが良くなることもあるのでは？

町づくりに協働と言われるようになって久しい。町が独断で行政を進めようとしても町民の協力が得られない時に、行政の政策に町民の理解を得るために町民への啓蒙を促す中で使われるようになったように感じるが、それは、中央直結の地方自治に対する批判の中で、地方自治の本来のあり方から国の押しつけでなく、住民が主人公の地方自治が見直される中で、住民参加の意識を強めるために協同や協働が重視されたのではないかと、思います。

ところが、国は医療、福祉、教育などへの税金の使い方を削減するために、公助、共助、自助といった考えを打ち出しながら、行政の仕事を縮小、予算の削減に走るようになって来たように思います。そのために町民の出来ることは町民の手でと言っているように思われるが、町民が知恵を出し、力を発揮すれば大きな役割を果たせるものと思いますが、それは予算の削減を考える中ではうまくいかないでしょう。

追加 もともと協働が叫ばれたときは、町村合併が強行され、合併しないと交付税を減らすといった国の締めつけが強まり、自立（自律）を目指す町村は、節約できるところは節約し、自分たちで出来るところは自分たちの手でと、自立をめざす町民の合意が作られて行ったように思います。

商店をやっていたので家から出たことが有りません 近所の人も*から来たからですのでお話をしたことも有りませんので、もう一件の家はだれも住んでいませんので私の前もいませんので一件です。

(*：判読できず)